



「第 8 回 日本 TRIZ シンポジウム 2012」の 発表者の皆さま

2012 年 8 月 1 日

NPO法人 日本TRIZ協会

第 8 回 日本TRIZシンポジウム 2012

プログラム委員長 中川 徹

皆様のご協力を得まして、第 8 回日本 TRIZ シンポジウムのプログラムの準備はほぼ順調に進んでおり、感謝いたします。また、日刊工業新聞社殿からも協賛をいただくことになりました。このたび、プログラム編成を更新し、第三次案として、別紙のように公表いたしました。本案内は、国内発表者の皆さまに限定して、今後の準備などのご案内をいたします。

なお、詳細は、二つのホームページに掲載しました。

- ・ 日本 TRIZ 協会公式サイト: <http://www.triz-japan.org/>
- ・ 公共サイト『TRIZ ホームページ』: <http://www.osaka-gu.ac.jp/php/nakagawa/TRIZ/>

特に、これらに掲載のつぎの資料を参照下さい。

- (a) プログラム編成について: 「プログラム一覧シート」、および「プログラム詳細表」
- (b) 発表等の内容について: 「アブストラクト集 (国内、海外発表者)」
- (c) 今後の準備について: 「最終原稿提出要領」(6/13 掲載)
- (d) 発表者の参加登録について: 「参加登録申込み書」(HP 掲載)で「発表者」と明記下さい。

1. 最終原稿の提出状況とプログラム編成の更新について

最終原稿 (7/23 締切) は、国内発表者のものはほぼ揃い、海外発表者のものも残り少数です。

この段階で、以下の 4 件が著者都合により取り下げになりました。

- J17 上村輝之 (アイディエーション・ジャパン) (オーラル発表)
- E08 Janet Sernack (イスラエル) (オーラル発表)
- E03 W. Phunbuddha (タイ) (ポスター発表)
- E05 C. Tongtae (タイ) (ポスター発表)

つぎの 2 件を新たに受理しております。

- J29 小野修一郎 (千葉工業大学): 創造の方程式—地域産業のための創造的人材育成プログラム
- E12 Kisoo Kim (POSCO、韓国): 孫子の三十六計と ビジネスのための TRIZ 戦略

また、つぎ発表をポスターからオーラルに変更しました。(共著者が来日する)

- E11 S.H. Yoo → J.Y. Han (韓国) 芸術学校における芸術-工学統合教育

以上に伴い、第 2 日のポスターセッションを取りやめ、第 3 日午後のポスターセッションに統合。
合計 7 件のポスター発表で、90 分の時間を設定しました。
また、オーラル発表の発表順序をいろいろ調整していますので、ご注意ください。

2. 最終原稿の提出、修正、英訳、英訳支援について

最終原稿、またはその一部が未提出の方は、至急仕上げて提出下さい。
提出要領の詳細は、6 月にお送りしました資料 (ホームページにも掲載) を参照下さい。
プログラム委員会は、原稿の審査はしておりません。気がつきました点だけ、指摘しております。

- ・ スライドはできるだけ大きいフォント (標準的には 20 以上、最小 16 以上) を使って下さい。
- ・ スライドは、デジタル版論文集ではカラーですが、印刷版論文集ではモノクロにします。
提出前に、モノクロ印刷 (あるいは画面上でのモノクロ表示) で確かめて下さい。
- ・ 濃色の背景を避けて下さい。(印刷版で黒くなり、プリンタインクを浪費させます。)
スライド投影で濃色の背景を使う方は、別途、白色 (淡色) 背景のものを作成し、提出下さい。
- ・ 著者から希望がありましたときに、プログラム委員会は (少数のボランティアの方の協力を得て) スライドの英訳/英訳推敲の支援をいたします。
この場合にも、英訳版は著者の最終責任で提出下さい。
発表スライドのタイトルページに、支援者の氏名(所属) を記述することをルールにします。
- ・ 最終原稿の訂正/更新は、8/20(月) まで受け付けます。
(小刻みに何回も更新されますと、プログラム委員会の処理が混乱します。注意下さい。)
- ・ TRIZ 協会では、査読付きの(電子版)「会誌」を今年度からスタートします。(協会 HP 参照)
研究論文は、TRIZ シンポジウムでの発表が前提で、投稿締切は 10 月 8 日です。
これに投稿希望の方は、シンポジウムにも論文原稿を提出されることをお勧めします。
シンポジウム参加者からのフィードバックを得ることができますから。

3. グループ討論について

第 1 日の 18:00 ~20:00 に、「夕食 & グループ討論」を行います。
63 号館 (歩いて 5 分ほど) のカフェテリアに移動し、グループごとに夕食を食べ (アルコールも可)、その後、討論をします。 つぎの 3 グループを予定しています。

名称	グループ A	グループ B	グループ C
テーマ	TRIZ の拡張・展開と企業での実地応用	企業における TRIZ の導入・適用・普及のために	若い人たちに TRIZ を伝える、教えるには?
使用言語	英語 (和→英の通訳補佐)	日本語のみ	前半: 英語(和→英通訳補佐) 後半: 英語グループと日本語グループに分かれる。
コーディネーター (調整中)	有田節男、小西 慶久、澤口 学	前古護、国友秀世、緒方隆司	中川 徹、石濱 正男
参加が予想される キーマン	Prof. Cavallucci (仏)、 Dr. de Carvalho (ブラジル)、 Kisoo Kim 他韓国の参加者、 タイの発表者 3 名、他 ----- 津波古和司、		Dr. Shin (韓国)、Prof. Yoo (韓国)、 ----- 弓野憲一、小野修一郎、 池田昭彦、粕谷茂、 越水重臣、 他
その他	日本からもできるだけ多く参加してほしい	新しいメンバ、ユーザの人たちをここに取り込むこと。	企業の新人教育などもここに含む。

それぞれのグループで、話し合いの素材などを用意ください。

(いろいろな発表者のアブストラクトをお読みいただくと、関心・興味が分かります。)

4. その他

問い合わせ、申込み先:

発表に関して: sympo@triz-japan.org (プログラム委員会)

参加・登録に関して: info@triz-japan.org (事務局/シンポジウム実行委員会)

以上